



【キューセツ：安全衛生基本方針】

人命尊重を基本理念とし、
安全は企業発展の原動力であり、社会的使命である。

～ 事前の準備を万端にする ～

毎日の業務お疲れ様です。

6月に入ると、毎年これから約4ヶ月は梅雨の大雨による災害や、猛暑日の熱中症、台風被害と、自然の猛威が頭をよぎります。今年は例年よりも梅雨入りが早く、現場作業を行う上では、身体的に厳しい時期が既に訪れています。さて、ミスというのは、どんなに注意していても起こるものです。うっかり忘れる事もあるでしょう。大切なのは、そのミスやうっかり忘れた事が重大な事態に繋がらないように、予防することが出来るという事です。作業前の事前準備や、KY活動をしっかり行うことが、その最も大切なポイントです。作業中にお互い声を掛合う事も大切でしょう。現場災害・車両事故も含め、過去の教訓を活かし、常に安全第一で、安心・安全な作業、施工を心がけて下さい。

また体調管理・熱中症予防・コロナ感染防止対策も徹底して、毎年訪れる暑い夏を、無事故・無災害で乗り切りましょう。



工務部 部長 中村

ホームページを リニューアルしました

2021年5月6日 公開



※現在、ホームページリニューアル中です。随時更新していきます。

ご挨拶 / 会社案内 / 事業内容 / 安全に対する取り組み / よくあるご質問 / 福利厚生 / 社会貢献活動 / 採用情報 / お知らせ / お問い合わせ

私たちが目指すものは
“究極の協役”です。

次世代足場
施工中

キューセツ
社内報

既にリニューアル公開しているキューセツのホームページについて、改めてお知らせです。一旦オープンしましたが、まだ未完成のページもあり、徐々にコンテンツを増やしています。もう見られた方も、まだ見られていない方も、是非一度、↓のQRコード（一番左）から見てみて下さい。また、制作にあたり、動画も撮影しています（採用動画のみ昨年撮影分）。この機会に、是非ご覧ください☆ Facebookや新着情報など、時々チェックしてみてくださいね。

ホームページ



採用動画



説明会用動画



15秒CM



熊本営業所 移転しました

2021年5月10日付



熊本営業所が、土地の都合で移転することになり、5月10日(月)から、新事務所での業務を開始しました。新事務所は、第二空港線(幹線道路)を挟んで、旧事務所のほぼ向かい側にあります。益城熊本ICの、登り口付近です。熊本営業所は2006年に開設されました。それ以来20年以上が経過し、旧事務所も随分老朽化していました。今回の移転で事務所もピカピカ☆新しい事務所でも気分も新たに、仲の良い熊本営業所らしく、頑張ってください!!



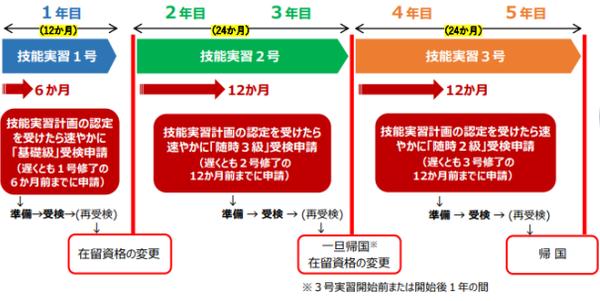
お近くにお越しの際は、事務所にお立ち寄りください!!

看板が幹線道路からよく見えます

引っ越し中の新事務所

実習生 随時2級試験実施

2021年5月19日(水)



先輩の試験を撮影する3期生の後輩↓



結果は二人とも見事合格! 制限時間いっぱいまで頑張りました。残りの実習期間も、どうぞよろしくお祈りします☆

ただ今、洗浄中です!

足場を施工する人にも、その足場を使用する人にも、リース中の施主様にとっても、気持ちの良い足場材でありたい。この気持ちから、一つ一つの材料を大切にすることにつながります。



現在、久留米・城島営業所では汚れたままだった材料を、高圧洗浄機を使って綺麗にしています。柱では、1時間で20~30本程度しか、洗浄できませんが、100℃の蒸気を一気に吹きかけることにより、柱に張り付いていたコーキング材や塗料がみるみるうちに落ちていきます。こうして材料の整備をすることで、綺麗になることはもちろんですが、いち早く、不良部材を仕分けすることが出来て、安全な材料を提供することにつながっていきます。社長も率先して洗浄をされていて、今は社長とNさんの指導のもと、アルバイトさんも数名がローテーションで洗浄作業をしています。



気を付けよう! 雨天時の運転

今年の梅雨入りは観測史上2番目の速さだと話題になっています。5月に梅雨入りとは、季節を感じる暇もありませんでしたね。しかし、梅雨と言えば、ここ数年は大雨の記憶しかないです。現場作業も気を付けなければなりません、車の運転にも十分注意せねばなりません。雨天時の車の事故発生率は、晴天時の3~4倍にもなるそうです。下記のような注意点に気を付け、慎重に運転しましょう。

- ワイパーのゴム・タイヤの溝のすり減りを確認
- 運転時の車間距離を多めに取る
- スピードの出し過ぎ注意
- フロントガラスのくもり対策
- 早めのヘッドライト点灯
- 冠水している道路は避ける(行ける!と思わない)
- 非常に激しい降雨時は、安全な場所に停車する



特に冠水した道路は、深さも分からず、パンクの原因になるようなものが沈んでいるかもしれません。また、アンダーパス部分もすぐに冠水しますので、避けるようにしましょう。雨の日は特に、歩行者にも周囲の車に対しても思いやりのある運転をしてください。

